

令和８年度総務省行政事業レビュー公開プロセス 取りまとめコメント

「宇宙戦略基金事業」

【論点に関するコメント】

- 基金設置法人である JAXA の運営においては、ステージゲート評価の透明性及び客観性を十分確保するとともに、PDCA サイクルをより効果的に機能させるべき。また、JAXA に過度の手続的な負担が生じないように考慮しつつ、技術開発だけでなく、事業自体の市場価値や必要性・必然性も踏まえた上で、効率的・効果的な支援となっているか、ゼロベースでの見直しも視野に入れて必要な見直しを検討すべき。
- ステージゲート評価については、必要であれば増額・減額・中止を行うためにも、厳格に行っていくべき。また、アウトカム指標については、世界で通用する国際競争力の確保や、経済安全保障上の重要性という点を十分踏まえた上で、ロジックモデルを見直し、明確で具体的なアウトカム指標を検討すべき。
- 基金の管理・運用については、執行が甘くなりがちであるという点を考慮しつつ、費用対効果を十分検討するとともに、人件費の上昇や物価高、人手不足等といった環境変化を踏まえた上で、ゼロベースでより効率的・効果的な方法を考えていく必要がある。

【その他】

なし